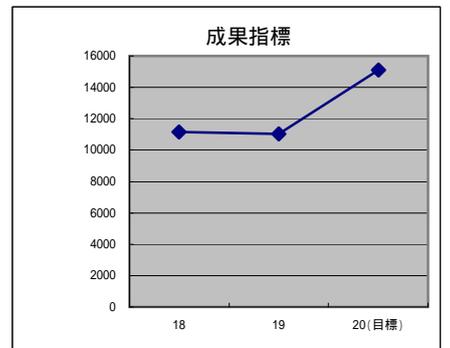
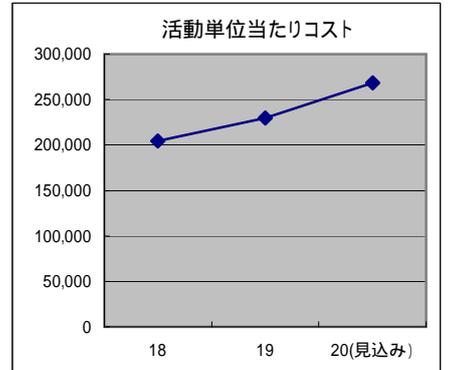


事務事業名	ふれあいネット雅び推進事業		予算科目	会計	1	一般会計
				款	3	民生費
				項	1	社会福祉費
				目	3	老人福祉費
				事業	1	老人福祉援護
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	作成部署	保健福祉部保険健康室高年介護課	
	施策(節)	3	高齢者福祉	連絡先	072 958 1111 内線 1353	
	施策の方向	(1)	地域包括ケアシステムの構築	関連する計画等		
			羽曳野市高齢者いきいき計画			

事業の目的
 対象(誰を・何を)
 市内の高齢者等
 意図(どういう状態にしたいのか)
 高齢者等が地域で安心して暮らせるよう関係機関のネットワークを構築する。
 事業の内容
 小学校区を単位として地域ケア推進チームを設置し、専門職との連携・協力、見守り体制の充実、相談支援体制の整備、介護予防の普及と啓発、高齢者の実態把握等を推進する。それらの活動を推進するため定期的に会議を開くこととする。また、各校区のチームの事務局業務を在宅介護支援センターに委託している。

根拠法令等	羽曳野市ふれあいネット雅び推進事業実施要綱					
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 14 年	月開始	<input type="checkbox"/> 明確にはわからない	終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化	平成18年度より基本業務と加算業務に分けて委託料を設定している。また、平成18年4月の地域包括支援センター創設により、地域ネットワーク構築が担当業務とされ、平成19年度より本格的に事業に参画をしている。					
市民や議会の要望						
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金・助成金	<input type="checkbox"/> その他()	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称			委託内容	ふれあいネット雅び推進事業委託
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託					

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	
事業費【1】	(千円)	11,145	11,042	15,084	
人件費【2】	(千円)	1,512	2,268	2,614	
職員数	正規職員	0.18 人	0.27 人	0.30 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.01 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.03 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考)	(時間)	時間	70.15 時間	66.45 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】		(千円)	12,657	13,310	17,698
財源内訳	国費	(千円)			
	府費	(千円)	1,212	3,350	3,350
	市債	(千円)			
	その他(手数料・使用料等)	(千円)			
	一般財源	(千円)	11,445	9,960	14,348
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度	19年度	20年度(目標)	
推進チーム会議・学習会開催回	回	62	58	66	
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)			204,145 円	229,483 円	268,152 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)			105 円	111 円	148 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	ふれあいネット雅び推進事業	事業費	目標	17,000	16,294	達成率(%)
			実績	11,145	11,042	67.8%
式)	決算額 ÷ 当初予算額 × 100%				達成率(%)	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		有

視点	分析のためのチェック点	評価			分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし	
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業開始以来、各地域における高齢者等の見守り・支援体制の充実と各機関のネットワーク作りを推進してきている。今後の高齢化の進行に伴う独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加、また災害時要援護者としての高齢者支援等、ますます高齢者の見守り・支援の必要性は増えることは必須である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	開始後7年を経過してきて、社会福祉協議会が地域福祉活動として実施している校区福祉委員会の小地域ネットワーク活動と連携を取っているものの、同様な会議や取組み活動が出てきているなど、小地域ネットワーク活動との関係や位置付けの検討を行い、事業の効率化を図る必要が生じてきている。
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	校区によって取組みの経緯や地域性などにより進行の度合いは差があるものの、高齢者への支援の取組みとして、成果を向上させる余地はある。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ふれあいネット雅び地域ケア推進チームを地域住民である民生委員や校区福祉委員、自治会、老人会、婦人会などで組織し、会議開催や高齢者等の見守り活動、介護予防や健康づくり活動など地域の取組みとして
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

担当 部局 評価	総合評価
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>評価の理由</p> <p>開始後7年が経過し、徐々にネットワーク活動が根付いているものの、新たな地域包括ケア体制の構築や地域密着型サービスの創設などの制度改正、災害時要援護者支援や孤立死防止対策などの社会情勢の変化に対応する課題が出てきている。そのため、これまで地域で培ってきたネットワークの実情を踏まえ、今までの取組みに当たった問題点や課題を十分に勘案しながら、新たな課題にも対応していくよう検討が必要である。今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)</p> <p>ふれあいネット雅び地域ケア推進チームの在り方として、小地域ネットワークなどの地域福祉活動との関係や位置付け、事務局体制の在り方や強化、地域での専門職種(機関)との有効な関わり方や名称の検討を行うとともに、地域住民を主体とした見守り活動や健康づくりや介護予防への取組み活動など諸活動の活性化を図る。</p>